



宮城県業務説明会

行政

**Miyagi
Prefectural
Government**

自己紹介 宮城県蔵王町出身

大学卒業後、2つの所属で勤務しています

職員歴
6年目です

R2.3月 県外大学卒業

R2.4月～ 保健福祉部 医療政策課 企画推進班

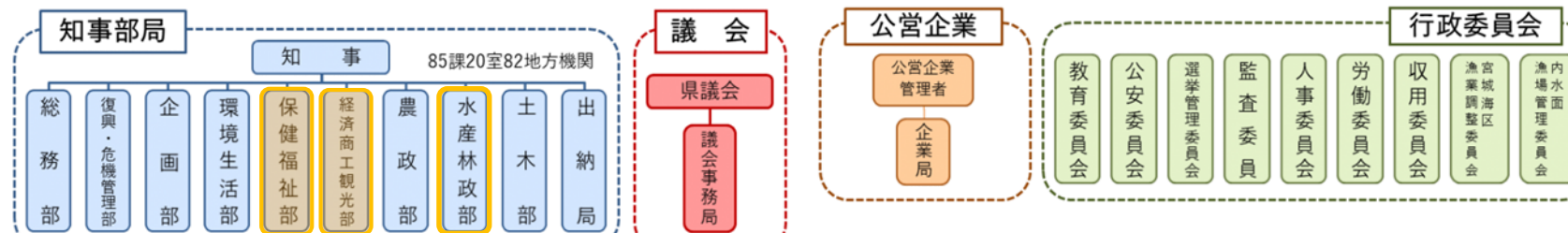
地域医療構想の推進（将来の医療需要を踏まえた医療体制の検討）

R5.4月～ 東部地方振興事務所 水産漁港部 漁港管理班

港の管理業務（許認可、施設管理、地域との調整等）

宮城県の組織

（令和7年4月現在）



働き方・休み方

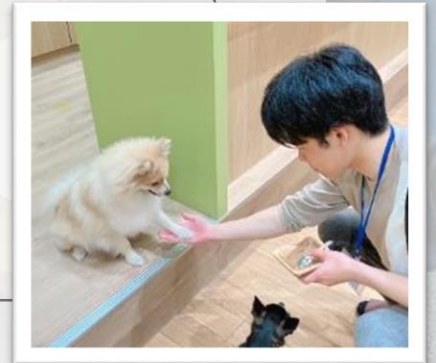
◆ 平日

メリハリを意識しています。
早く帰れる日はクライミングなどをしています。



◆ 週末

休日はしっかり休みます。
料理をしたり、犬カフェに行ったりします。



担当している仕事（現在）

東部地方振興事務所 水産漁港部 漁港管理班

漁業関係者の仕事場、『漁港』を
管理しています。

担当業務

- ・ 漁港の施設管理
- ・ 漁港の利用方法の検討



大変なこと（漁港管理）

漁港は公共の場所であるとともに、漁業者関係者の仕事場でもあります。
単に管理するだけでなく、**より良い方向性**を地域と模索し続ける必要があります。
答えのない仕事も多く、大変ではありますが、それが**醍醐味**でもあります。

●—— 主にオフィスで行う ——●

適切に維持する仕事

（使用許可、業務管理）



漁港の適正管理が目標



●—— 現場に出て行う ——●

一緒に考える仕事

（地域との協力、検討）



使いやすい漁港が目標

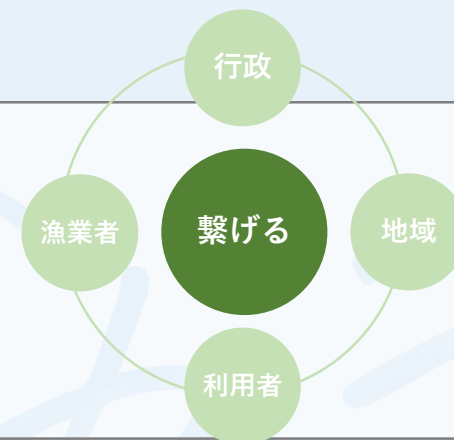
より良い漁港の創出

やりがい、心掛けていること

◆ やりがい

地域を**繋げる**仕事であること

主役は行政ではありません。
しかし、地域を繋げ、舵を取れるのは行政だからできることです。



◆ 心掛けていること

地域を**知る**こと

百聞は一見に如かず。
現場に出て、地域を知ること意識しています。

働いて感じる宮城県職員の魅力

◆ 様々な目線で宮城県を考えられること。

本庁舎

県全体を考える

視点

より広範な課題に対して、
総合的に対応する



地方機関

地域ごとに考える

視点

より顔の見える距離で、地域
の特色に応じた課題を解決



多数の部署が存在

入庁前のイメージとギャップ

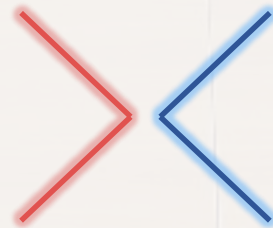
◆ 県民生活を多様な視点で考える！

イメージ



- ・ 事務作業が多い？
- ・ 堅い人が多い？
- ・ 住民対応はない？

具体的なイメージはなく、
オフィスで淡々と事務をこなす
仕事を漠然と想像していました。



実際



- ・ 結構現場に行く！
- ・ 多様な経歴の人が！
- ・ 直接話すことも多い！

県民対応も多く、事務職以外の
技術職も多数在籍していること
から、色々な視点で業務を行います。

志望動機

なぜ公務員だった？

- ◆ 定期的な部署異動があることから、様々な仕事に携わりたかったから。

なんで宮城県庁を選んだ？

- ◆ 家族が暮らす地元のために、仕事を通して役立ちたいと考えたから。

私の公務員試験対策

◆ 筆記

課題

- ・科目が多い
- ・目標が分からない
- ・まとまった時間が必要

解決

- ・テキストに一通り触れる
- ・過去問を活用する
- ・逆算する

やってみる
ことから

◆ 面接

課題

- ・漠然と不安
- ・上手く話せない
- ・正解が分からない

解決

- ・自己分析
- ・簡潔かつ明確を意識する
- ・自分なりの答えを持つ

考えを言葉に

みなさんへのメッセージ

宮城県の良い所を考えてみてください。

※好きな場所（地域、施設）やイベント、思い出、はたまた県職員の魅力でも

それがやりたいことを探すきっかけになると思います。

ご清聴
ありがとうございました

